

我が里東大和を巡る

水道道路から狭山公園を経て多摩湖と狭山湖へ

(撮影;川鍋正義、編集;川鍋正義、岡田正嗣、印刷;伊澤克夫)

平成21年5月の第1回「34歩く会」発足から9年、通算20回の「34歩く会」を開催してまいりました。発足当時は皆様元気一杯で、歩く速度も速く、長距離を歩きましたが、最近では歩行速度もゆっくりになり、歩行距離も短くなってまいりました。もう後期高齢者の一歩手前まで来てしまいました。今後は、無理をせずに、安全、健康を第一にしてウォーキングを続けていきたいと思ひます。

今回は、21回ですので、「34歩く会」の原点である第1回のコースを辿ってみたいと思ひます。

- 1. 開催日; 平成30年4月7日(土) 10時集合
- 2. 集合場所; 東大和市駅
- 3. 歩行コース; (ト)はトイレ

東大和市駅(ト)→水道道路→浄水場→武蔵大和駅(ト)→狭山公園(ト)→堰堤北(ト)→
 10:00 10:40 11:00 11:20 11:30 12:00
 →狭山湖(ト)(昼食)→山口観音(ト)→多摩湖中堰堤→豊鹿島神社(ト)→上北台駅→(クス会)
 12:45 13:15 14:00 14:30 15:00 16:00



水道道路の遊歩道

第21回34歳以上会

城が里東大和春遊会

平成30年4月7日(土)



水道道路の遊歩道





武蔵大和駅:町田君と



狭山公園



たっちゃん池





レオライナー



西武球場



山口観音;花まつり



花祭り

四月八日は
お釈迦様の
誕生日です



山口観音





多摩湖中堰堤



豊鹿島神社



慶性院



我が里東大和を巡る 歩行記

今年は、1月は異常な寒さの日が続いた後、3月に入り今度は異常な暖かい、暑い日が続き、あっという間にお彼岸前に桜が咲いてしまった。その後も気温が高い日が続き、東京でも4月4日には26℃の夏日となった。このため桜の花はすっかり落ちて葉桜になり、他の木々も一斉に新芽が吹き出して、すっかり新緑の世界だ。

今回の「34歩く会」は第21回目なので、大略第1回目のコースを辿り東大和を一周するコースだ。集合時間の30分前、午前9時30分に東大和市駅に行くと、何とおなじみの顔がもう4人も来ているのではない。年齢を重ねるに従い、朝も早くなるようだ。その後次々に懐かしい仲間が集まり、元気に再会できたことを談笑する。横浜からは大貫さん、都内からは尾又さん、八王子からは山崎さんも来て下さり、再会を祝す。集合時間の10時になると、12名の仲間が集まった。昨日までの天気予報では、今日は雨の一日であったが、皆さんの心がけが良かったためか、昨日の台風並みの雨交じりの大風で雲が飛び去り、今日は青空が見える。風も無くひんやりとして爽やかで、気持ちが良くてハイキングには持って来いのお天気だ。

本日のウォーキングのコースの説明をした後、集合写真を撮り、いざ出発！ 10:15

駅前の桜の大木も、もうすっかり新緑に覆われている。野火止用水に沿って東に進むと、左手には畑一面に真っ黄色な菜の花が咲いており、花の香りが強烈に流れてきて、思わず香りに酔ってしまいそうだ。野火止用水には清らかな水が流れており、小魚が沢山泳いでいる。小魚を掬っている子供や、釣をしている子もいる。ザリガニもおおり、皆で水面を覗き込む。

ホテルの養殖をしているところを過ぎ、用水路の遊歩道に入る。この遊歩道は、羽村からの玉川上水が玉川上水駅付近から地下の用水路に入り、野火止用水の下を通り、東村山の浄水場に供給されている用水路の上に設けられたものである。遊歩道にはツツジや山吹やなど種々の草木が植えられており、花が咲いている。所々には芸術作品のモニュメントが設置されており、各々説明文が付けられている。

東京街道団地にさしかかると、八重桜の大木の並木があり、今を盛りと大きな花が満開で、薄紫色に盛り上がっており、実に見事だ。ここで集合写真を撮る。この遊歩道に沿って高压電線が伸びており、巨大な鉄塔には「只見線」とある。福島県の只見ダムで発電した電気が、はるばるこの東大和を通り、京浜工業地帯まで送られているのだろう。

真っ直ぐな遊歩道を談笑しながら歩いて行くと、やがて新青梅街道に出た。今まで歩いてきた静かな遊歩道から急に沢山の車がひしめき合っただけでスピードを上げて走っているのに驚く。横断歩道の信号がなかなか変わらないので、歩道橋に登る。歩道橋から見下ろす新青梅街道は、どの車も何をそんなに急いで走っているのかと思われ、普段、自分が車で走っているときとは別の世界のような。 11:00

歩道橋から降りて直ぐに空堀川の遊歩道に入る。良く整備された遊歩道には河津桜の並木が伸びているが、もうすっかり若葉が生い茂っている。遊歩道と新青梅街道の間の斜面には、チューリップや水仙や山吹などが咲いており、いろいろな草木が植えられており、立派な花壇になっている。花壇の中には1人のご婦人が雑草を取り、花の手入れをしているので話を聞くと、花壇を作って4、5年経ち、年々拡大していると言う。素敵な花を楽しませていただき、どうもありがとう！ 遊歩道を東に進むと階段があり、空堀川の河川敷に降りる。ごろごろした石を踏み渡り、西武多摩湖線のガードの下を潜る。この河川敷から見る景色は、普段見慣れたものとは全く異なり、ここが東大和かと疑いたくなる。再び階段を上り、多摩湖自転車道路に出て、ここで小休憩。1時間ほど休みなしに歩き続けたことになる。

11:10

多摩湖自転車道路を歩き始めると、桜の巨木の並木が続き、2週間前には満開の桜が見事であったろう。やがて東村山浄水場の脇に出ると何やら大工事をやっており、大きな円筒形の構造物を建設中だ。左を見ると、先ほど歩いてきた玉川上水からの用水路が見通せて、この浄水場で多摩湖からの導水と合流しているのが解る。遊歩道の左側には時折西武多摩湖線の電車が行き交う。

やがて武蔵大和駅に到着。11:35 コンビニで昼食を購入し、トイレを借用する。トイレは定員が1人なので長い階段を上り、駅のトイレを借用する。近くに住んでいるC組の町田君が顔を見せてくれたので、全員で集合写真を撮る。写真を撮っていると、老人の集団を見かねたのか通りかかった青年が「シャッターを押しましょうか」と声をかけてくれた。ご厚意に甘えてシャッターを切っていただく。思わず爽やかな気分になった。どうもありがとう！ 11:45

再び歩き始め、金属パイプがアーチのように並んだ橋のような処を渡る。ここは我々が小さい頃、多摩湖から浄水場への水路が開口していて流れが見えたところだ。今は完全に暗渠になっている。そこから狭山公園の山の中への長い階段を上る。10年前の第1回目はスイスイ登ったのに、今回はヒイコラヒイコラやと登る。狭山公園の森の中に入ると、まさに新緑の真っ只中で、優しい木漏れ日が射し込み、明るく気持ちが良い。森のあちこちから鳥の鳴き声がうるさいくらいに聞こえ、近くでウグイスも鳴いており、心が洗われる。

やがて一面緑の「太陽の広場」に出る。日差しが強くなってきたので木陰を歩き、緩い坂を下ると「たっちゃん池」に出る。池は山の中の湖という感じで、対岸の新緑が水面に映り込み神秘的だ。池を回り込み、再び山の中に入り階段を上ると、多摩湖下堰堤の南端に出る。そして「12段」の橋を渡る。「12段」は多摩湖の放水路で、我々が小中学生の頃は水が流れており、小さなプールが段々に並んだようになっていた。その頃は学校にプールが無かったので、絶好のプールになっており、我々の仲間も良く泳いでいたものだ。「ここで昼食」と早々とお弁当を開けた仲間がいたが、もう少し我慢をしていたら、堰堤の北までお預けだ。

堰堤に登ると360度視界が開け、満水の湖面には東大和のシンボルである取水塔が浮び、遠く上堰堤も見える。右側には狭山公園が広がり、西武園の観覧車の向こうには所沢のビル群も見える。今日は天気は良いが春霞のためか、残念ながら富士山やカイツリーは見えない。これまでかなり長く歩き続けたので、少々疲れたのか堰堤をユックリと歩き、休憩所に到着。

休憩所には他の人は全くおらず、貸し切り状態だ。そして待ちに待った昼食！ 12:30 これまで歩き続けたので、各々お弁当にかぶりつく。お菓子やデザートのお裾分けも美味しくいただく。昼食をほぼ食べ終わった頃、急に陽が陰り、冷たい風が吹いてきて雲行きが怪しくなってきたので早急に出発することにする。12:50

10年前の第1回目の時は、ここから多摩湖の遊歩道を山口貯水池まで元気に歩き、そこで昼食にしたのだが、あれから10年、体力も衰えてきたので西武球場までレオライナーの電車で行くことにする。レオライナーは、懐かしい「おとぎ電車」の跡地を走り、西武園から西武球場の間を走っている。西武園の入り口の処から西武園遊園地駅に行き、改札口を入ると、あと1分後の12:57発のレオライナーが待機している。我々の仲間の半分ほどが改札口を通過したときに出発の合図が鳴り響いた。電車は比較的空いており、大貫さんは一旦乗車したが降車して次の電車に乗ることにした。その10分後、次の電車が3両編成で入ってきたが、同時に多摩湖線の電車も入ってきた。今日は西武球場で野球の試合があるので、沢山の客が降りてきて、駆け込み、たちまちレオライナーは超満員になってしまった。西武ライオンズは27年ぶりに開幕5連勝をしているので観客も多いようだ。レオライナーの車輪はゴムタイヤでコンクリートの上を走るの、電車とは少し乗り心地が異なるようだ。車窓の右にゴルフ場を見ながら快適に走り、約10分ほどで終点の西武球場駅に到着。13:20 駅を出ると球場前は沢山の客であふれ、焼鳥、たこ焼き、焼きそばなどの屋台が並んでおり、美味しそうな匂いが強烈に漂い、屋台には客が長い行列を作っている。球場の観客席も見え、ほとんど満席になっているようだ。

球場前の雑踏を抜け、かつてユネスコ村があった前を通り、狭山不動尊の前に出る。そしてこの地の古刹である山口観音の仁王門を潜り、石段を登って手水舎で身を清める。13:30 手水舎の反対側には白馬の像が奉られた御堂がある。この馬は、鎌倉攻めの際に新田義貞が奉納したもので、その馬の後ろの奥の方には、無数の馬が刻まれた巨大な木の根が安置されている。競馬の好きなK君は、早速、馬券が当たりますようにとお祈りをする。当たり馬券のためなら1万円位のお賽銭をあげるべきではないか・・・ 山口観音は、この地の人々および東大和の人達にも信仰が厚かった寺で、千手観音が安置されており、正式名称は真言宗の金乗院だ。山口観音の本堂に上がると「花まつり」が行われている。そう、明日は4月8日で「花まつり」の日だ。花が飾られた小さな御堂の中の甘茶の上に、天と地を指さしたお釈迦様の像が立っている。小さな柄杓で甘茶を汲み、お釈迦様にかけて幸せを祈る。その隣には魔法瓶に入った甘茶があり、美味しくいただく。我々も小学生の頃、「花まつり」の日には学校の帰りにお寺に寄って、お釈迦様に甘茶をかけ、甘茶をいただいたことを懐かしく思い出した。さらに幸せを祈りながら、本堂の周りに設けられた多数のブレイクベルをクルクル回しながら本堂を一周する。日橋さんが数えたところベルの数は108個あったそうだ。

境内には新田義貞が鎌倉攻めの際に植えたとされる「誓いの桜」の木もある。本堂の裏には無数の水子地蔵が並んでいる。本堂の脇には七福神が安置された御堂があり、更にその隣には、だれにも迷惑をか

けずに極楽浄土に行ける「ぼっくりさん」の御堂もある。御堂に頭を下げ坂を登ると、料亭「堤新亭」の脇に出る。西武球場と第2球場を見下ろしながら進むと、やがて慶性門に出る。慶性門は、かつて多摩湖の湖底にあった寺「慶性院」の山門だ。建物はしっかりしているが、茅葺きの屋根はかなり傷んでいる。茅葺き屋根を改修できる職人がなかなかいないのだろうか。13:55

慶性門を潜り抜け多摩湖の中堰堤に出る。堰堤の下の芝生には工事用の白い囲いが設けられ、貯水池の一部が連立した鋼管で堰き止められている。何の説明も無いが、堰堤の補強工事をするのだろうか。芝生の上を歩き、再び長い階段を登り堰堤の他端に出て、さらに鹿島台に登ると、多摩湖の遊歩道に出る。この遊歩道を横切り、ゲートボール場を右に見て豊鹿島神社の境内に入る。14:25 豊鹿島神社は西暦707年の創建で東京都で一番古い木造建築であり、都の重要文化財に指定されている。神社に拝礼をして参道を歩き、青梅街道を横切り、10年前の第1回目に立ち寄り、新鮮なトマトを沢山御馳走になった同級生の中村さん宅に寄り、中村さん（C組の旧姓関田さん）と再会。14:45 中村さん宅では、今はトマトの販売はしてないそうだ。

中村さん宅から更に南に向かい、慶性院に立ち寄る。慶性院は多摩湖の湖底にあった古刹であるが、多摩湖の建設に伴いこの地に移ったものだ。この寺にはF組の担任であった奥住先生のお墓があるので、全員で墓参した。14:55 先生は、今の我々よりも若くして亡くなられたようだ。慶性院からは空堀川の遊歩道を上北台に向かう。途中の七森には、明るい雑木林の中で、数組の家族がバーベキューを楽しんでいた。明るい木陰の下で気持ち良さそうだ。そして本日のゴール地点である上北台駅に到着、完歩！ここで解散。15:20

今回はかなり長い距離を歩いたようで、歩数は約2万歩であった。その後、南街の「養老の滝」に行き、黒須さん、郡さんも加わりクラス会を行い、大いに盛り上がった。

次回は10月20日に、空堀川を源流まで遡るウォーキングだ。

これからも健康の証として、また皆さんで一緒に元気に歩きましょう！